

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	Y M C Aのびのびクラブ鍛冶町			
○保護者評価実施期間	2025年 4月 2日		～	2025年 4月 8日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	40	(回答者数)	23
○従業者評価実施期間	2025年 4月 2日		～	2025年 4月 8日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数)	3
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 4月 11日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者との連携	活動終了後に集団または個別で様子について共有を行っている。また、保護者面談や勉強会を実施して保護者と密に連携がとれるようにしている。	保護者と職員との連携に加え、保護者同士の交流ができるように機会を設け、情報交換できるように工夫する。
2	活動プログラムが固定化されないように（マンネリ化しないように）工夫	活動終了後に振り返りを行い、活動内容や子どもの様子について共通理解を図っている。また、振り返りをもとに次の活動計画および子どもの対応につなげている。	共通理解の度合いにバラつきがでないように、紙面やデータ等での共有をより強化する。
3	子どもたちの活動に合わせた環境作り	活動内容に合わせて、部屋の使い分けや職員の配置数の調整を行っている。	視覚提示等、合理的配慮ができるように努める。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	マニュアル等の周知 (事故防止、緊急時対応、防犯、感染症対応)	年度初めに保護者にお渡ししている「利用のしおり」にて、利用時の注意点や感染症対策等は周知しているが、細かな点が周知できていない箇所もある。	職員用および保護者周知用のマニュアルを再度見直し、共通理解を図る。
2	非常災害の発生に備えた定期的な避難または救出訓練の実施	避難または救出訓練の回数が少ない。	地震や火災が起こった際の避難経路等を職員間、および職員と子どもたちで共通理解できるように、訓練の回数をさらに増やす。
3	放デイ以外の子どもたちとの交流	同法人内の放デイとは長期休暇時等で交流の機会を設けているが、その他の子どもたちとの交流があまりできていない。	放デイを行っている建物内で、2025年4月1日より学童が開始したため、土曜や長期休暇時に交流できる機会を設けられるようにする。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 Y M C Aのびのびクラブ鍛冶町

公表日 2025年 4月 11日

利用児童数 40

回収数 23 (57.5%)

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	20	3	0	0		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	20	2	0	1		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	17	4	1	1		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	22	1	0	0		
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	21	2	0	0	難聴なので、口元を見せてゆっくりと話してほしい。	伝え方等、より専門性のある支援ができるよう努めています。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	23	0	0	0		
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	23	0	0	0		
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	20	0	0	3		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	22	0	0	1		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	22	1	0	0		
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	11	3	2	7		
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	23	0	0	0		
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	19	3	0	1		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	23	0	0	0		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	23	0	0	0		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	21	2	0	0		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	22	1	0	0		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	14	7	0	2	きょうだい間のイベントが今後できるといいが、職員に気にかけてもらっている。	現在実施している保護者勉強会に加え、保護者同士の交流会やきょうだい児も参加した活動ができるように検討していきます。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	21	1	0	1		

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	23	0	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	19	1	0	3		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	22	0	0	2		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	12	3	0	8		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	6	4	0	13		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	19	1	0	3		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	19	1	0	3	そのようなことが起こったことがない。	今後も速やかな連絡や情報共有等を心がけていきます。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	22	1	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	23	0	0	0		
	29	事業所の支援に満足していますか。	23	0	0	0		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 2025年 4月 11日				
事業所名		Y M C Aのびのびクラブ鍛冶町				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3	0	活動内容に応じて、部屋を使い分けている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	3	0	活動内容に合わせて、配置数を調整している。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	0	状況に応じて、その都度工夫している。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	3	0	毎日確認している。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3	0		工夫しているが十分ではないため、改善が必要。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	3	0	1週間、1ヶ月、3ヶ月等、一定の期間の目標を設定して取り組んでいる。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	1	2	保護者からの相談については対応できている。	評価表を踏まえた改善が必要。また、保護者の意向把握の機会を設定したい。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2	1	活動終了後に振り返りを行い、それをもとに次の活動につなげている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	2		他部門の方からの評価を踏まえた改善も必要。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3	0	2024年度は内部研修を7回実施。その内、1回は職員間の面談を実施。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	1	2		作成はできているが、公表が不定期。口頭では説明している。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	3	0		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	1	2		共通理解の度合いが職員によりバラつきあり。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	1	2		口頭での共有はあるが、紙面やデータなどでの共有をより強化する。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	0		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	3	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3	0		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	3	0		

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	3	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	0		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	3	0		記録方法を検討し、改善したい。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3	0		見直しは行っているが十分ではないため、改善を図りたい。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	3	0		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	3	0	その都度行っているが、今後も適切な支援方法を考えたい。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	0		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	3	0		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	0	3		必要に応じて実施していく。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	0	3		現在はそのような機会がないため、必要があれば行う。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	0	3		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	1	同法人内の放デイと長期休暇時等で交流の機会を設けている。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	0	3		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	3	0		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	0	年間で数回、保護者勉強会を実施している。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	3	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	3	0		

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	3	0		交流の時間をさらに増やす必要あり。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	3	0		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3	0		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	0	市民センターを訪問する等、地域参加をしている。また、法人主催の行事に地域の方の参加が見られる。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	0	3		周知や訓練を強化する。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	0	3		訓練の回数を増やす必要あり。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	3	0		
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	0		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3	0		安全管理は徹底しているが、引き続き必要な箇所は随時改善していく。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	1	2		周知を強化する。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3	0		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	1	2		適切な対応ができるように、今後内部研修でさらに学びを深める。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	2	1		再度、こどもや保護者、職員間で確認していく。